

**外国人県民向け調査「令和 2 年度外国人県民アンケート」**  
**日本人県民向け調査「令和 2 年度多文化共生・共創推進アンケート」**  
調査結果

**I 調査の概要**

区 分	1. 外国人向け調査 外国人県民アンケート	2. 日本人向け調査 多文化共生・共創推進アンケート
対 象	県内在住の外国人 (ブラジル、ベトナム、中国、 フィリピン、ペルー 他)	県内在住の満 18 歳以上の日本人
回答件数	計 225 件	計 381 件
方 法	市町村や市町村国際交流協会、留学生 のいる学校等、キーパーソン経由での 配布、郵送による回収	層化二段無作為抽出法（選挙人名簿登 録者）により抽出した対象者へ郵送配 送、郵送及び電子申請受付システムに よる無記名回収
地 域	前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、大泉町 他	1 2 市及び大泉町
期 間	令和 3 年 3 月～5 月	
内 容	県内在住の外国人及び日本人を対象とした、在住外国人の実態や外国人・日 本人の多文化共生に関する意識やニーズなどについての調査	

※前回調査「定住外国人実態調査」は、平成 28 年 7 月～平成 28 年 10 月に実施。

## 調査結果のポイント

注1) ( ) 内は前回調査の数値

注2) ( - ) については、新規回答項目

### 1. 外国人調査

#### (1) 群馬県での暮らし ※新規項目

問「あなたは現在どの程度幸せだと感じていますか」に対する回答

- ・「幸せだと感じている」または「やや幸せだと感じている」 72.4% ( - )
- ・「どちらとも言えない」 20.4% ( - )
- ・「あまり幸せだと感じていない」または「幸せだと感じていない」 5.3% ( - )

※約7割の回答者が「幸せ」または「やや幸せ」と回答。

#### (2) 日本人との交流

問「日本人との交流についてどう思いますか」に対する回答上位

- ・「積極的に交流したい」 73.8% (67.0%)
- ・「必要最低限の交流でよい」 16.9% (26.3%)
- ・「交流しなくてよい」 2.7% ( 3.9%)

※前回調査に続き、交流意識は高い。

#### (3) 情報の入手方法

問「必要な情報をどのように手に入れますか（複数回答可）」に対する回答上位

- ・「インターネット」 21.0% ( - )
- ・「友達」 14.7% (24.3%)
- ・「家族や親族」 11.1% ( - )
- ・「県庁や役所」 11.1% ( - )
- ・「会社や学校」 11.0% ( - )

※前回調査では「友達」の他、「日本語のメディア 5.4% (18.6%)」、「SNS 7.1% (14.9%)」と回答する人が上位。

#### (4) 現在困っていること

問「現在困っていることは何ですか（複数回答可）」に対する回答上位

- ・「日本語のコミュニケーション」 16.8% (17.5%)
- ・「新型コロナウイルス」 15.0% ( - )
- ・「生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること」 8.5% (10.7%)
- ・「日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること」 7.8% ( 9.8%)

※前回調査に続き、「日本語のコミュニケーション」に困っていると回答する人が一番多い。（前回調査では“択一回答”として調査）

問「日本語を勉強していない理由は何ですか（日本語を勉強していない人のみ。複数回答可）」に対する回答上位

- ・「勉強する時間がない」 33.7% (48.5%)
- ・「日本語は難しい」 16.3% (15.4%)
- ・「近くに勉強できる場所がない」 12.0% ( 5.3%)

※集住地域（伊勢崎市、太田市、大泉町）以外の調査地域を増やした今回調査では「近くに勉強できる場所がない」と回答する人の割合が増加。

## 2. **日本人調査**

### **(1) 外国人住民との関わり**

問「外国人と顔を合わせることがありますか」に対する回答上位

- ・「よくある」 24.9% (47.2%)
- ・「時々ある」 40.2% (27.6%)
- ・「あまりない」 25.2% (16.7%)

※6割以上の回答者が「よくある」または「時々ある」と回答。

※集住地域以外の調査地域を増やした今回調査では「よくある」または「時々ある」と回答する人の割合は前回調査に比べて低い。

問「外国人住民との関わりは深めるべきだと思いますか」に対する回答上位

- ・「生活上、必要最低限の交流はしたほうがよい」 60.1% (50.6%)
- ・「積極的に深めていくほうがよい」 11.5% (13.6%)
- ・「特に深めなくてもよい」 16.5% (20.0%)

※「最低限の交流はしたほうがよい」と回答する人が増加。

### **(2) 外国人住民が増えることに関する考え**

問「あなたがお住まいの地域に外国人住民が増えると、つぎのような状況が生まれると思いますか（個別に「はい」「いいえ）」に対する「はい」回答上位

<肯定的な意見>

- ・「外国の文化・風習に触れる機会が増える」 76.1% (73.3%)
- ・「労働力が補充される」 64.3% (75.4%)

<否定的な意見>

- ・「意思疎通ができないのではと不安になる」 51.2% (62.5%)
- ・「受入れ整備のために、税金からの負担が増す」 46.5% (61.0%)

※肯定的な意見については「はい」と回答する人の割合が多い傾向。

### **(3) 地域社会における外国人の活躍**

問「外国人が地域社会で活躍することについてどう思いますか」に対する回答

- ・「好ましい」 58.0% (48.0%)
- ・「わからない」 33.6% (31.7%)
- ・「好ましくない」 6.6% (18.5%)

※「好ましい」と回答する人の割合が最も高く、増加。

### **(4) 取り組むべきと思う支援 ※新規項目**

問「外国人と日本人が共によりよく暮らせる地域づくりを進めるためには、どのようなことに取り組むべきと思いますか（複数回答可）」に対する回答上位

- ・「地域の生活ルールに関する支援」 17.0% ( — )
- ・「日本語の習得への支援」 15.1% ( — )
- ・「日本の習慣や文化に関する支援」 13.3% ( — )

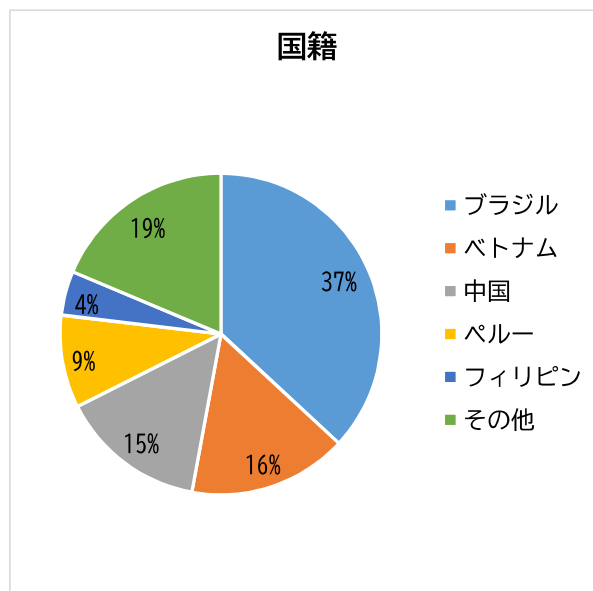
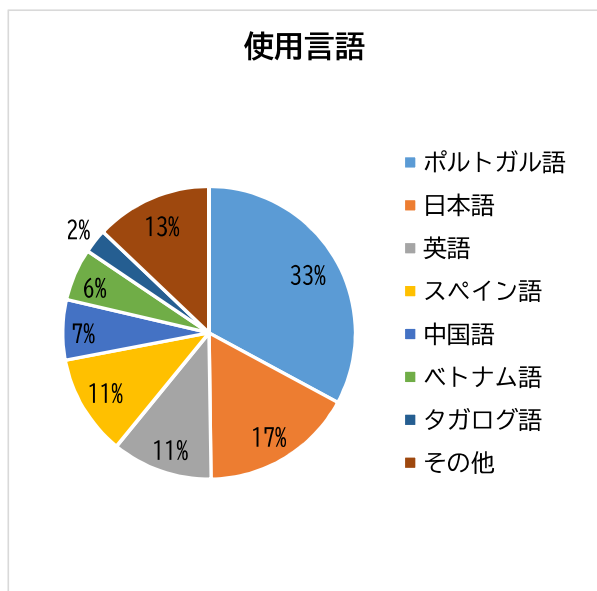
※「地域の生活ルールに関する支援」に取り組むべきと回答する人の割合が最も高い。

## **Ⅲ 主な調査結果**

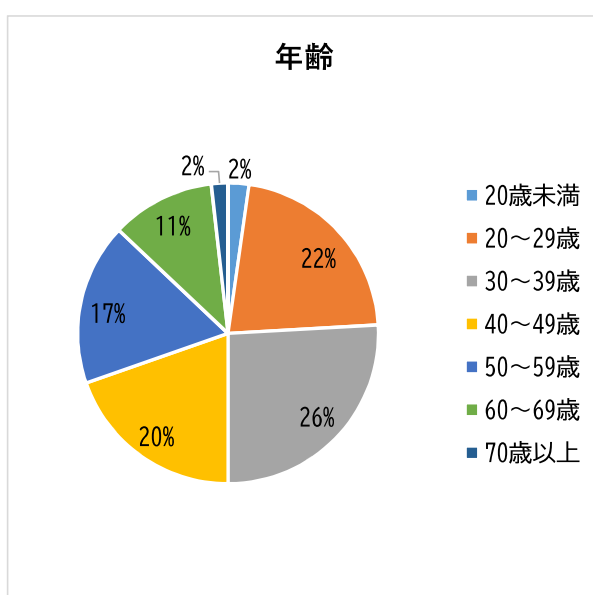
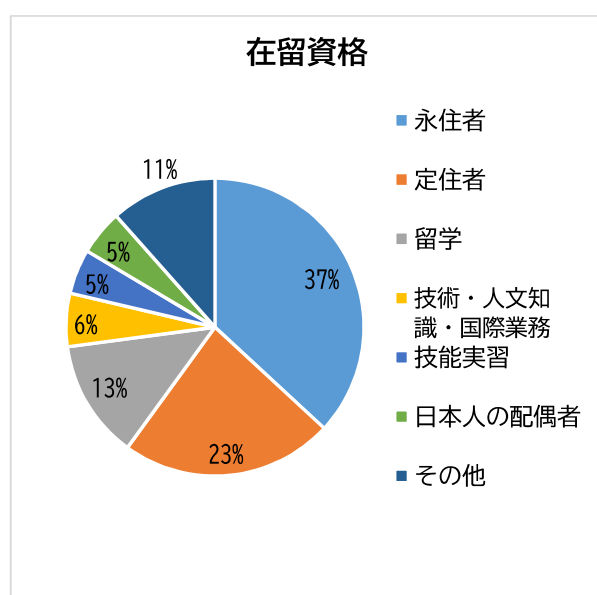
資料「別添1」及び「別添2」のとおり。

【主な調査結果】外国人県民向け調査「令和2年度外国人県民アンケート」

■回答者の属性（n=225，択一回答）



※複数言語回答者は「その他」へ分類

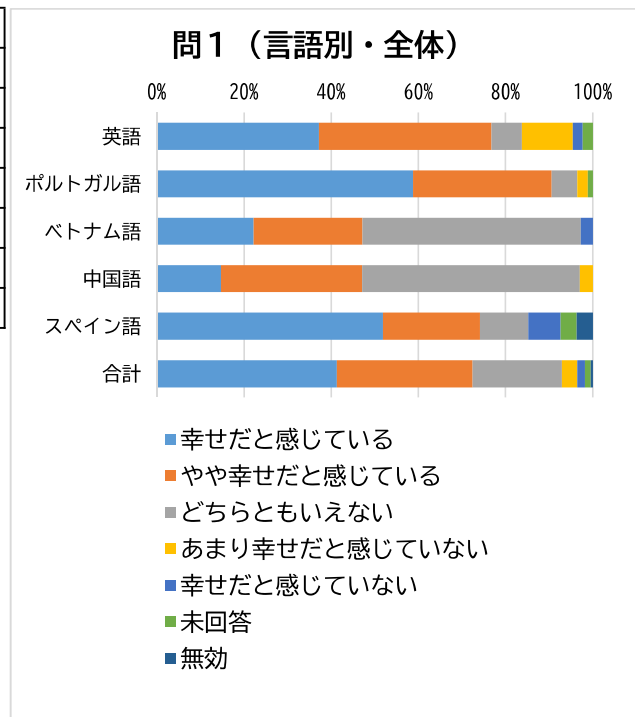


(1) 群馬県での暮らし ※新規項目

問1「あなたは現在の程度幸せだと感じていますか。(n=225, 択一回答)」に対する回答

- ・ 幸せだと感じている回答者の割合が約7割。(「幸せだ」と「やや幸せ」を合わせると72.4%であり、「幸せだと感じない」と「あまり幸せだと感じない」を合わせると5.3%。)
- ・ 言語別でみると、特にポルトガル語圏の回答者のうち90.6%が「幸せ」または「やや幸せ」と回答。

項目	回答数	構成比率
幸せだと感じている	93	41.3%
やや幸せだと感じている	70	31.1%
どちらともいえない	46	20.4%
あまり幸せだと感じていない	8	3.6%
幸せだと感じていない	4	1.8%
未回答	3	1.3%
無効	1	0.4%
	225	

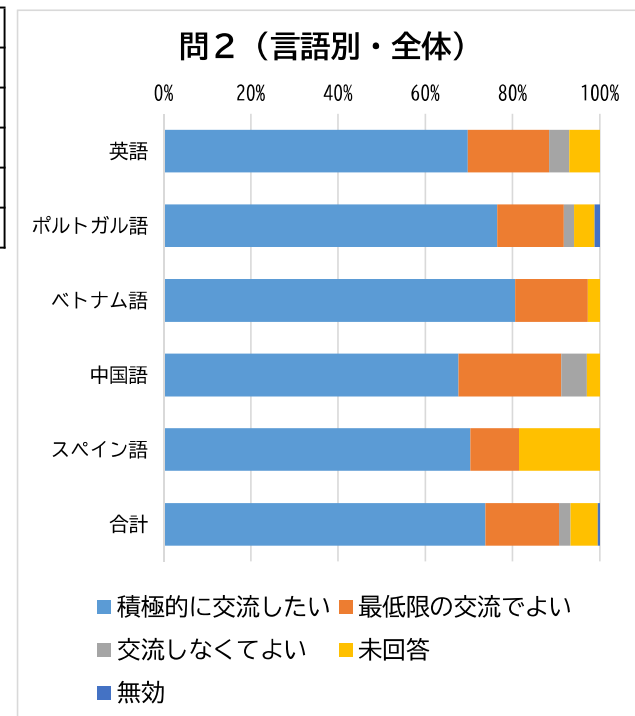


(2) 日本人との交流

問2「日本人との交流についてどう思いますか。(n=225, 択一回答)」に対する回答

- ・ 前回調査と同じく、「積極的に交流したい 73.8%(前回: 67.0%)」と回答した人が最も多く、交流意識が高い。

項目	回答数	構成比率
積極的に交流したい	166	73.8%
最低限の交流でよい	38	16.9%
交流しなくてよい	6	2.7%
未回答	14	6.2%
無効	1	0.4%
	225	

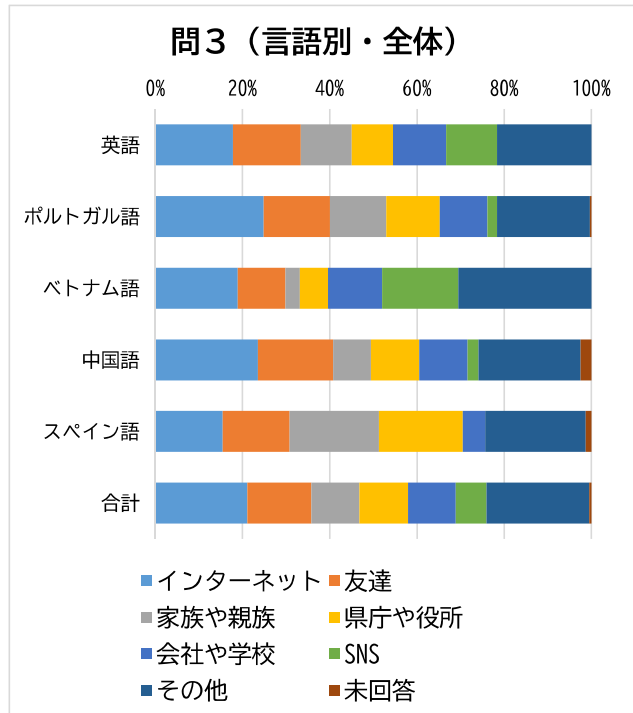


(3) 情報の入手方法

問3「必要な情報をどのように手に入れますか。(n=803, 複数回答)」に対する回答

- ・「インターネット 21.0%」、「友達 14.7%」と回答する人が多く、「家族や親族 11.1%」、「県庁や役所 11.1%」と続く。
  - ・前回調査では「日本語のメディア 5.4% (前回: 18.6%)」「SNS 7.1% (前回: 14.9%)」が上位。
- ※前回調査とは回答項目が違うため、近い情報の入手方法で整理。

項目	回答数	構成比率
インターネット	169	21.0%
友達	118	14.7%
家族や親族	89	11.1%
県庁や役所	89	11.1%
会社や学校	88	11.0%
SNS	57	7.1%
その他	189	23.5%
未回答	4	0.5%
	803	

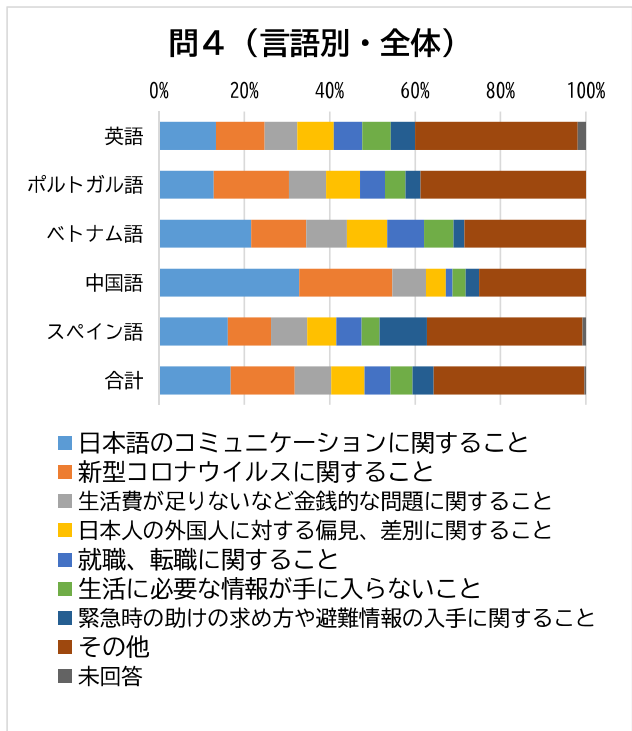


(4) 現在困っていること

問4「あなたが現在困っていることは何ですか。(n=692, 複数回答)」に対する回答

- ・ 前回調査と同じく「日本語のコミュニケーション 16.8% (前回: 17.5%)」に困っていると回答する人が一番多い。  
 ※前回調査では“択一回答”として調査。また、前回調査とは回答項目が違うため、近い情報の入手方法で整理。

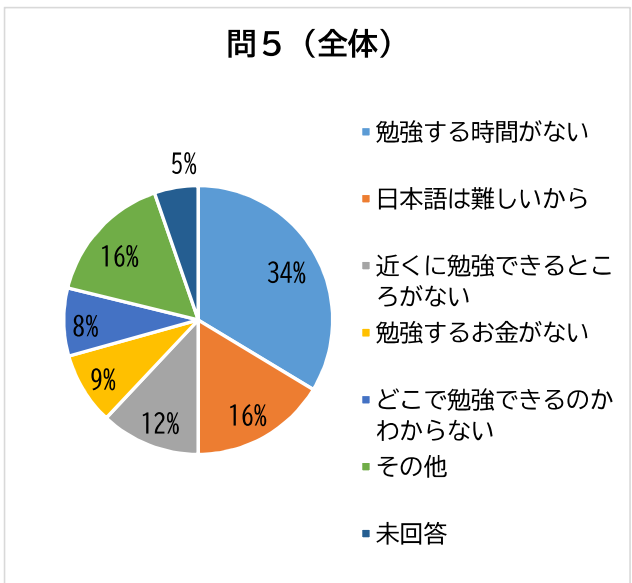
項目	回答数	構成比率
日本語のコミュニケーションに関すること	116	16.8%
新型コロナウイルスに関すること	104	15.0%
生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること	59	8.5%
日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること	54	7.8%
就職、転職に関すること	42	6.1%
生活に必要な情報が手に入らないこと	36	5.2%
緊急時の助けの求め方や避難情報の入手に関すること	34	4.9%
その他	244	35.3%
未回答	3	0.4%
	692	



問5「日本語を勉強していない理由は何ですか。(日本語を勉強していない人のみ。n=208, 複数回答)」に対する回答

- ・ 前回調査に続き、「勉強をする時間がない」と回答する人の割合が最多。  
 (前回調査結果は、設問「日本語を勉強するのに困ったことはありますか」に対する回答)
- ・ 集住地域(伊勢崎市、太田市、大泉町)以外の調査地域を増やした今回調査では、「近くに勉強できるところがない」と回答する人の割合が増加。

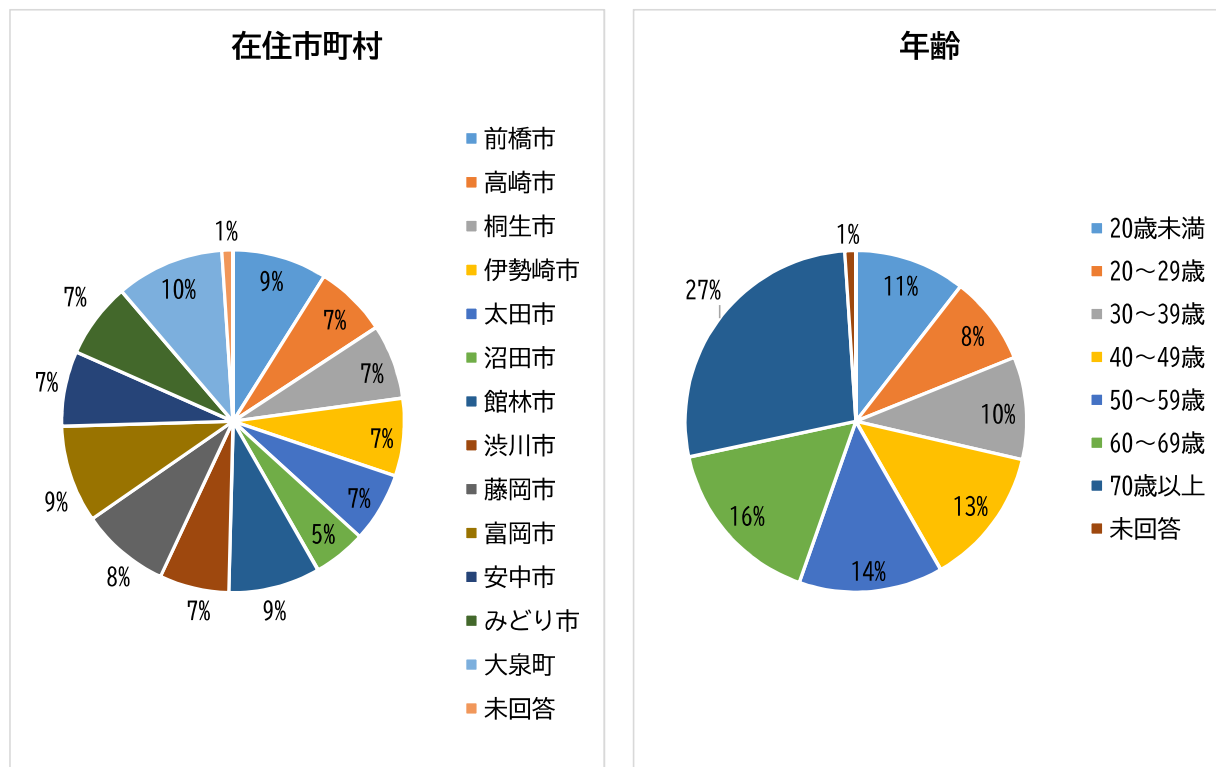
項目	回答数	構成比率
勉強する時間がない	70	33.7%
日本語は難しいから	34	16.3%
近くに勉強できるところがない	25	12.0%
勉強するお金がない	18	8.7%
どこで勉強できるのかわからない	17	8.2%
その他	33	15.9%
未回答	11	5.3%
	208	



## 【別添 2】

### 【主な調査結果】日本人向け調査「令和 2 年度多文化共生・共創推進アンケート」

■ 回答者の属性 (n=381, 択一回答)





(1) 外国人県民との関わり

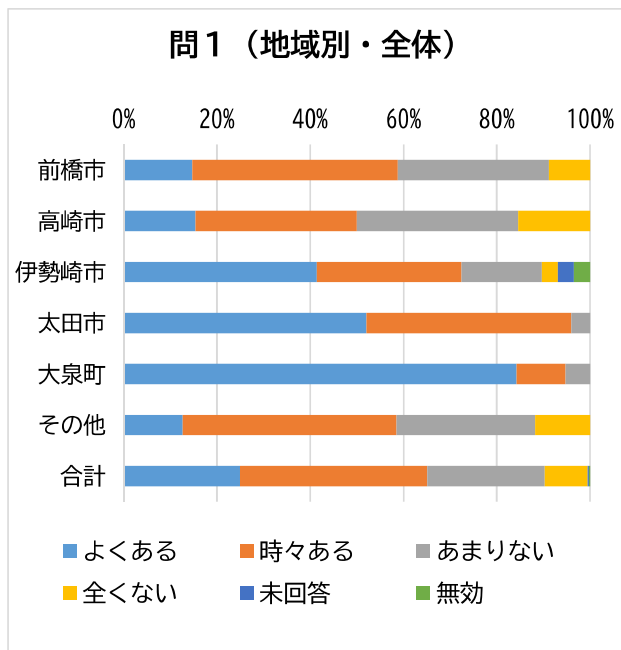
問1「あなたの住む地域では、外国人と顔を合わせることがありますか。(n=381, 択一回答)」に対する回答

・「よくある」と「時々ある」と回答する人を合わせると65.1%であり、地域で外国人と顔を合わせることがある回答者が多い。

・集住地域(伊勢崎市、太田市、大泉町)だけでは、「よくある」と「時々ある」と回答する人を合わせると88.0%。

・前回調査と同じ地域(外国人県民数の多い5市町(前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、大泉町)のみ)では、「よくある」と「時々ある」と回答した人を合わせると75.0%であり、前回調査78.6%とほぼ同じ割合。

項目	回答数	構成比率
よくある	95	24.9%
時々ある	153	40.2%
あまりない	96	25.2%
全くない	35	9.2%
未回答	1	0.3%
無効	1	0.3%
	381	

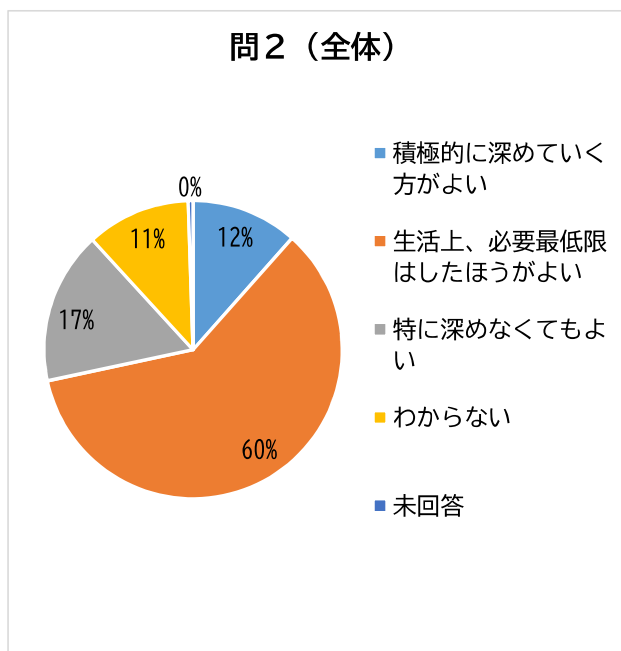


問2「外国人県民との関わりは深めるべきだと思いますか。(n=831, 択一回答)」に対する回答

・「生活上、必要最低限は外国人と関わりをもつほうがよい 60.1%」と回答する人が一番多い。

・前回調査と比べ「生活上、必要最低限は外国人と関わりをもつほうがよい 60.1% (前回: 50.3%)」の割合が更に増加。

項目	回答数	構成比率
積極的に深めていく方がよい	44	11.5%
生活上、必要最低限はしたほうがよい	229	60.1%
特に深めなくてもよい	63	16.5%
わからない	43	11.3%
未回答	2	0.5%
	381	

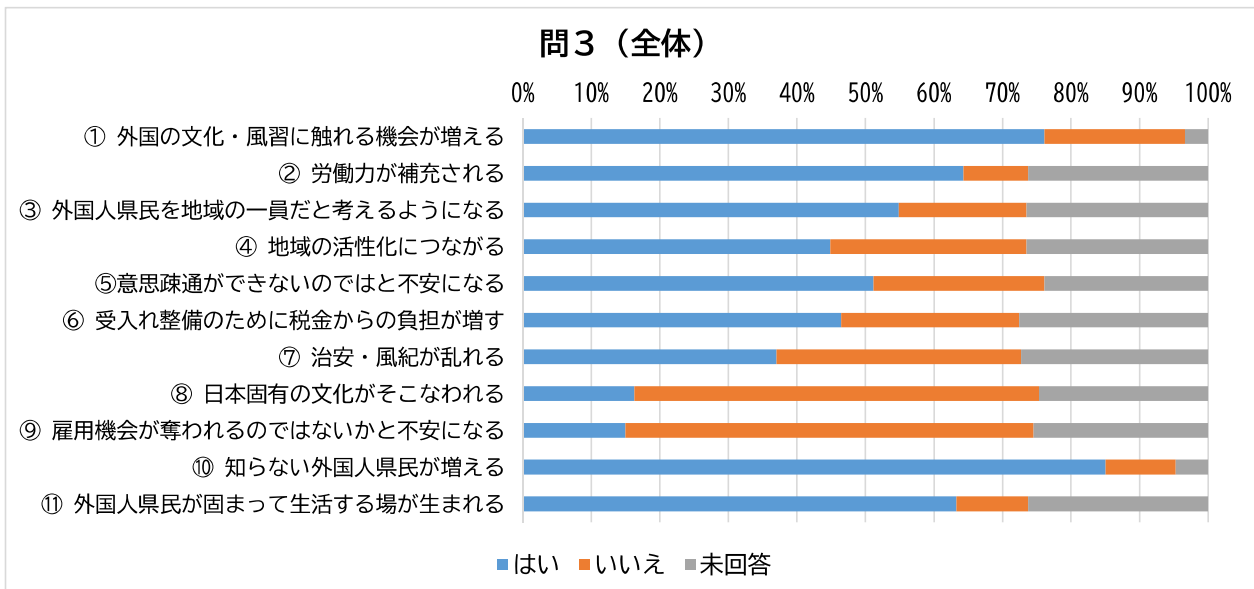


(2) 外国人県民が増えることに関する考え

問3「地域に外国人が増えると、次のような状況が生まれると思いますか。(個別に「はい」「いいえ」、択一回答)」

・肯定的な意見①～④、否定的な意見⑤～⑨、その他⑩⑪と整理すると、肯定的な意見については「はい」と回答する人が多い傾向。

項目	はい	いいえ	未回答	「はい」 の構成比率	
① 外国の文化・風習に触れる機会が増える	290	78	13	76.1%	肯定的な意見
② 労働力が補充される	245	36	100	64.3%	
③ 外国人県民を地域の一員だと考えるようになる	209	71	101	54.9%	
④ 地域の活性化につながる	171	109	101	44.9%	
⑤ 意思疎通ができないのではと不安になる	195	95	91	51.2%	否定的な意見
⑥ 受入れ整備のために税金からの負担が増す	177	99	105	46.5%	
⑦ 治安・風紀が乱れる	141	136	104	37.0%	
⑧ 日本固有の文化がそこなわれる	62	225	94	16.3%	
⑨ 雇用機会が奪われるのではないかと不安になる	57	227	97	15.0%	その他
⑩ 知らない外国人県民が増える	324	39	18	85.0%	
⑪ 外国人県民が固まって生活する場が生まれる	241	40	100	63.3%	

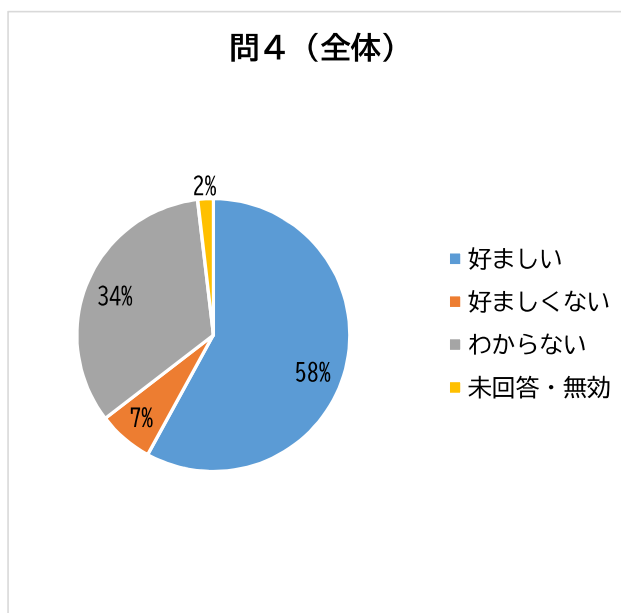


(3) 地域社会における外国人の活躍

問4 「外国人が地域社会で活躍することについてどう思いますか。(n=381, 択一回答)」

- ・「好ましい 58.0% (前回:48.0%)」と回答する人が最も多く、かつ前回調査に比べ割合が増加。
- ・一方、「わからない 33.6%」とした回答者も多い。

項目	回答数	構成比率
好ましい	221	58.0%
好ましくない	25	6.6%
わからない	128	33.6%
未回答・無効	7	1.8%
	381	



(4) 取り組むべきと思う支援 ※新規項目

問5 「外国人と日本人が共によりよく暮らせる地域づくりを進めるためには、どのようなことに取り組むべきと思いますか。(n=1,730, 複数回答)」

- ・「地域の生活ルールに関する支援 77.2%」と回答する人が最も多い。

項目	回答数	構成比率
地域の生活ルールに関する支援	294	17.0%
日本語の習得への支援	261	15.1%
日本の習慣や文化に関する支援	230	13.3%
災害時など、緊急時の連絡・支援	216	12.5%
多言語で対応できる相談窓口や相談員の設置	200	11.6%
就労・就職に関する支援	161	9.3%
地域の住民との交流や意見交換	129	7.5%
住居の手配・確保に関する支援	97	5.6%
その他	142	8.2%
	1,730	

